

①前橋市地域公共交通計画(案)について

別紙 1

| | | 委員意見等 | 回 答 |
|------|------|---|--|
| 資料 3 | P41 | 表町は392本停車するので、「運行間隔の不均一」となるが、69系統の中には「運行されているだけでありがたい」バスも多くあると思われる。 | 等間隔運行に関しては、郊外と前橋駅を接続する路線であることを踏まえ、本数を減回することなく、ダイヤ調整を行っており、郊外の利便性を損なうことなく、まちなかの利便性を向上させることを予定しております。 |
| 資料 3 | P43 | 鉄道からバスへの結節状況になっているが、バスから鉄道への結節状況についての表がない。 | 計画における表記は鉄道からバスへの結節状況になっておりますが、施策「都心幹線の設定」の中で実施する本町ライン等間隔運行に関しては、バスから鉄道への結節も考慮してダイヤ設定をしているところです。 |
| 資料 3 | P75 | バスだけの記述になっている。 | 鉄道及びタクシーに関しても新型コロナウイルスの影響を大きく受けていることについて認識しておりますが、代表としてバスの状況を記載させていただいております。引き続き利用状況について共有させていただければと考えております。 |
| 資料 3 | P83 | 関連計画として立地適正化計画も記載したほうがよろしいのではないのでしょうか。 | ご指摘のとおり記載します。 |
| 資料 3 | P99 | 目標値について、公共交通利用人数が年間ベース、中心部の来訪者は1日あたりとなっており比較しづらいため、年間と1日あたりを併記したらどうか。 | ご指摘のとおり比較しやすいよう修正します。 |
| 資料 3 | P99 | 目標値について、年度ごとの目標も検討いただけますでしょうか。 | 新型コロナウイルスの影響が想定しづらいところですが、年度ごとの目標値を設定した上で、毎年度評価をしていきます。 |
| 資料 3 | P104 | 短期、中長期両方に○がある施策について説明をお願いしたい。 | 施策の中で短期的に実施していく事業、中長期的実施していく事業が混在する場合に両方に○を記載しています。それぞれの施策の中で、事業ごとに記載をしております。 |
| 資料 3 | P114 | フィーダー補助金を活用する場合は、計画に位置付ける必要があり、補助要綱第17条第1項に規定する事項を記載することが要件になる。 | 補助要綱第17条第3項の規定「利便増進計画に記載された事項については、記載を省略することができる。」により、公共交通計画には記載をせず、利便増進計画に記載を予定しております。 |
| 資料 3 | P105 | 交通系ICカードの導入、利用しやすい運賃制度、都心幹線の形成、共同運行など、短期的な公共交通計画の取組みが、市民の皆さんの目に見えるよう、できるだけ早期に実施をお願いします。 | 網形成計画策定後、事業者との調整を重ねてきており、今年度から本町ラインの等間隔運行やICカードの導入等順次実施していく予定であり、利用者に分かりやすく周知をしていきます。 |
| 資料 3 | P105 | 中長期の取組みとして、鉄軌道間のネットワーク化、幹線バス路線の明確化、幹線バスの定時性確保、本町五差路周辺の改良をセットで検討推進をお願いします。五差路の改良は、戦災復興事業のとりまとめであって、今後の前橋市の交通まちづくりの要であると考えます。 | 本町五差路に関しては引き続き関係機関と協議の上、検討していきます。 |
| 資料 3 | P118 | JR群馬総社駅西口の開設について、弊社は駅舎及び自由通路の整備は前橋市の事業検討に協力している段階です。従いまして、現時点で何らかの意見等を設けることは控えさせていただきます。 | 引き続き、協議をさせていただきながら西口開設を目指していきたいと考えております。 |
| 資料 3 | P126 | 施策番号3-5「自転車と公共交通を組み合わせ移動の利便性の向上」の項目で自転車乗車中のヘルメット着用促進の一文を可能な限り掲載願いたい。 | 本計画は持続可能な交通ネットワーク構築・移動手段の充実を目指す計画であり、ヘルメットの着用については、群馬県交通安全計画に位置付けがあり、本市も県計画に基づき普及・啓発に取り組んでいるところです。 |
| 資料 3 | P131 | AIを活用した効率的な配車システムについて、「ググっとぐんMaaS」が「ググッとぐんMaaS」と記載されておりますので訂正をお願いいたします。 | 大変失礼しました。訂正いたします。 |

| | | 委員意見等 | 回 答 |
|-----|------|--|--|
| 資料3 | P132 | 長年の課題であったバスの共同運行がスタートし、構想の実現化が進むと思う。JR前橋駅を中心とした放射型の路線に加え結節点や環状機能を持った路線の充実を図っていく必要がある。更にはパークアンドバスライドの拠点も計画してもらいたい。 | 前橋駅以外の拠点間を接続する移動手段について、バスだけでなく、タクシーの活用なども含めて検討していきます。P138のとおり、新道の駅などパークアンドバスライド駐車場に位置付けを行い、都心への自動車の乗り入れ抑制を図っていきます。 |
| 資料3 | P138 | 都心地域への自動車の利用の抑制について、パーク&バスライド等の推進、都心地域の駐車施設の適正化となっています。都心地域への自動車利用を抑制し、また公共交通機関のスムーズな運行を実現するためには、通過交通への対策が必要と考えます。前橋市アーバンデザインでは「街路ネットワークの改善イメージ1」に「まちなかの通過交通を外周に誘導し、交通量を減らす」といったことが示されていますが、個別施策を検討してはどうか。 | ご指摘のとおり本市ではウォークアブルなまちづくりを進めるべく、まちなかへの自動車交通量を減らすことを目指しておりますが、アーバンデザインの策定も踏まえ、本計画で位置づける公共交通利用への転換策とあわせて通過交通の外周への誘導策について、MDC等関係団体とも連携しながら関係部署と検討していきたいと考えております。 |
| 資料3 | - | 資料7に記載していただいたとおり、「H30移転後の日赤病院の位置づけがないので新たに拠点設定するとともに、旧日赤跡地にCCRC構想により様々な施設整備がされる予定のためこれも拠点設定をお願いしたい」とのことですが、この2つの拠点について市計画（案）に記載がないので、県計画との整合を図っていただきたい。 | P109イメージ図に位置付けを行った上で、整合を図っていきま |
| 資料3 | - | 現在、群馬県において敷島エリア及び周辺エリアの価値向上を目的に、ランドデザイン検討を行っているところである。エリア価値向上において、人の交流は不可欠であり、公共交通は重要な要素であることから敷島エリアにおけるバスのサービス水準確保や交通結節点としての機能強化について、連携して検討をお願いしたい。 | 本市もランドデザイン検討に参画しているところであり、P109イメージ図に位置付けを行った上で、敷島公園へ既にポートを設定したシェアサイクルとバスとの連携も含めて今後検討していきたい。 |
| 資料3 | - | バス停の新規指定にあたっては、横断歩道に近く死角となる恐れがある場所への設置を防ぐため、警察への事前相談をお願いしたい。 | これまでとおりバス停の新設等については、利用者の安全性を考慮しながら関係機関への相談の上、検討していく所存です。 |
| 資料3 | - | 高齢者が安心して運転免許の自主返納ができるような地域公共交通計画を策定していただきたい | 運転ができない高齢者や学生であっても自由に外出できるまちを目指すことを目標の1つとしており、ご指摘のような社会を構築すべく各施策を実施していきます。 |
| 資料4 | | 共同経営計画に関し、認可後に運行計画変更届出とありますが、認可申請時に該当書類を送付することで、届出手続きが省略可能となります。 | ご教示いただきありがとうございます。運行計画変更届出については、別途手続きを考えております。 |
| 資料4 | | 認可後に6社協定締結とありますが、認可申請時に共同経営に関する協定内容を記載した書類の添付が必要となります。 | ご教示いただきありがとうございます。協定内容については、認可申請時に添付する予定です。 |

②令和2年度MaaS実証実験、自動運転バス実証実験について

| | 委員意見等 | 回 答 |
|---------------|---|---|
| 資料5 (MaaS) | 高齢者でも簡単に利用できるサービスにすることが大切だと思います。 | スマートフォンの使用が必要となり高齢者には活用しづらいという面がございますが、登録方法の単純化を図るなどできる限り誰もが活用できるサービスとして行きたいと考えております。 |
| 資料5 (MaaS) | MaaSについて、市民の皆さんの利用を促すためには継続的な取り組みが必要と考えます。粘り強くお願いします。 今年度のMaeMaaS実証実験で、利用状況・意向、評価等を詳細に把握されるとよいと考えます。 | 今後、MaeMaaSの長期間の実証に向けた検討・調整を進め、社会実装に向けた検討を進めてまいります。令和2年度実証実験は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を多分に受ける結果となりました。 今後、with/afterコロナ社会に適したMaeMaaSサービスとしていくため、実験結果の分析・考察を進め令和3年度以降の取組みへ活用してまいります。 |
| 資料5 (MaaS) | MaaS実証実験について、マイナンバーカード連携についてはどのように周知を行ったのか説明をお願いします。また、目標の有無や達成状況、結果を踏まえた課題・今後の改善点をお伺いしたいです。 | ・市広報及びHPといった媒体をはじめとし、前橋商工会議所広報誌「糸都」への掲載、市内主要施設にて周知チラシの配布、市facebook等のSNSによる発信、JR前橋駅と連携し駅構内にて、MaaS利用案内に関する掲示物の特設展示を実施しました。 また、新型コロナウイルス対策を十分に実施した上で、前橋駅及び市公民館にて利用説明会を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を多分に受け、目標には未達との結果となりました。またシステムの使いやすさが課題となり、今後どなたにでも使いやすいサービスとなるよう関係者協議の上検討を進めてまいります。 |
| 資料6 (自動運転) | 当署管内で自動運転バス実証実験を実施する場合には、事前に警察本部交通規制課及び当署担当者との連絡調整に努めていただきたい。 | 引き続き情報共有させていただきながら実装に向けて検討を進めていきたいと考えております。 |
| 資料6 (自動運転) | 自動運転化に利用増となる仕組みについて、もう少しご説明があれば良いと思います。 | 運行頻度が少ないため、利用しないという方は多く、自動運転化により、高頻度運行が可能になると考えています。資料はイメージでございますが、具体的なシミュレーションを行い、費用対効果についても検証が必要と考えております。 |
| 資料6 (自動運転) | 1回目、2回目とも実際に試乗したがまだまだという思いである。早く運転手のいない自動運転が実現してほしい。また、広くPRをする必要があると思う。 | 昨年度の実証実験はコロナ禍の中、周知がしづらい面がございましたが、自動運転バス運行時は通常の1.5倍程度に利用者は増加しており、引き続き社会に自動運転技術が受け入れられる環境づくりを実施していくことも重要と考えております。また、地域の理解協力や県内外への周知も含め利用促進PRも強化していきたい。 |

③群馬県地域公共交通計画にかかる意見について

| | 委員意見等 |
|-----|---|
| 項目1 | <ul style="list-style-type: none"> ・意見のとおり新道の駅の拠点設定をお願いしたい。 ・来訪者の交流を支えるのであれば「群馬大学（関根町周辺）」の設定をお願いしたい。 ・これにより市内でも特にバス利用者の多い国道17号沿線が主要幹線となり得る。 ・国道17号や国道50号沿線は主要幹線になるべきと考える。 |
| 項目1 | <ul style="list-style-type: none"> ・群馬大学（荒牧）、前橋工科大学＋日赤、共愛学園等の大学を地域拠点として位置付けられないか検討をお願いします。 |
| 項目8 | <ul style="list-style-type: none"> ・MaaS実証実験、自動運転バス実証実験についても、新たな交通手段の確保の取組事例としてあげてはどうか。 |

上記意見を反映させ、群馬県へ回答いたします。

第10回前橋市地域公共交通再生協議会 書面表決事項

| | 委 員 | 令和2年度決算認定 | 令和3年度予算(案) |
|----|--------------------------------------|-----------|------------|
| 1 | 前橋市副市長 戸塚良明 | 承認 | 承認 |
| 2 | 前橋市未来創造部長 青木一宏 | 承認 | 承認 |
| 3 | 前橋市都市計画部長 金井秀人 | 承認 | 承認 |
| 4 | 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社 吉住浩史 | 承認 | 承認 |
| 5 | 上毛電気鉄道株式会社 取締役社長 古澤和秋 | 承認 | 承認 |
| 6 | 一般社団法人群馬県バス協会 乗合部会長 阿部正治 | 承認 | 承認 |
| 7 | 前橋地区タクシー協議会長 矢嶋敏文 | 承認 | 承認 |
| 8 | 国土交通省 高崎河川国道事務所長 福井貴規 | 承認 | 承認 |
| 9 | 群馬県 前橋土木事務所長 塚越保典 | 承認 | 承認 |
| 10 | 前橋市 建設部長 長岡道定 | 承認 | 承認 |
| 11 | 前橋警察署長 須永盛男 | 承認 | 承認 |
| 12 | 前橋東警察署長 田村宗二 | 承認 | 承認 |
| 13 | 地域住民 鈴木正知 | 承認 | 承認 |
| 14 | 地域住民 嶋田大和 | 承認 | 承認 |
| 15 | 前橋工科大学 教授 森田哲夫 | 承認 | 承認 |
| 16 | 国土交通省 関東運輸局 交通政策部 交通企画課長 板垣友圭梨 | 承認 | 承認 |
| 17 | 国土交通省 関東運輸局 群馬運輸支局 首席運輸企画専門官 鎌塚俊充 | 承認 | 承認 |
| 18 | 国土交通省 関東地方整備局 建政部 都市整備課長 大櫛寛之 | 承認 | 承認 |
| 19 | 群馬県 県土整備部 交通政策課長 松井紀 | 承認 | 承認 |
| 20 | 群馬県 県土整備部 都市計画課長 大塚雅昭 | 承認 | 承認 |
| 21 | 前橋商工会議所 副会頭 小林要一 | 承認 | 承認 |
| 22 | 前橋商工会議所交通政策専門委員会 委員長 石井繁紀 | 承認 | 承認 |